

## Excel2010データ抽出の操作手順

### 抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出します。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能です。

Excel-VBAで作成しています（Microsoft社のExcelが必要（WindowsXP Excel2010で動作確認を行っております。））。

### 手順概要：

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は町丁・字等別〔移動人口の男女・年齢等に関する集計〕の場合は「SELH22KIS(EXCEL2010).xlsm」になります。

プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれています。

- 1．Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。  
抜き出したい項目に\*を入れる。
- 2．抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、実行する。

### 補足：

町丁字等別集計は集計値のほかに次の情報が付加されています。この情報はRID項目に記録されています。

#### (1) 秘匿情報

町丁字等別集計は秘匿措置がされている。秘匿情報は秘匿地域の町丁字等コードであり、秘匿先、秘匿元の2種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

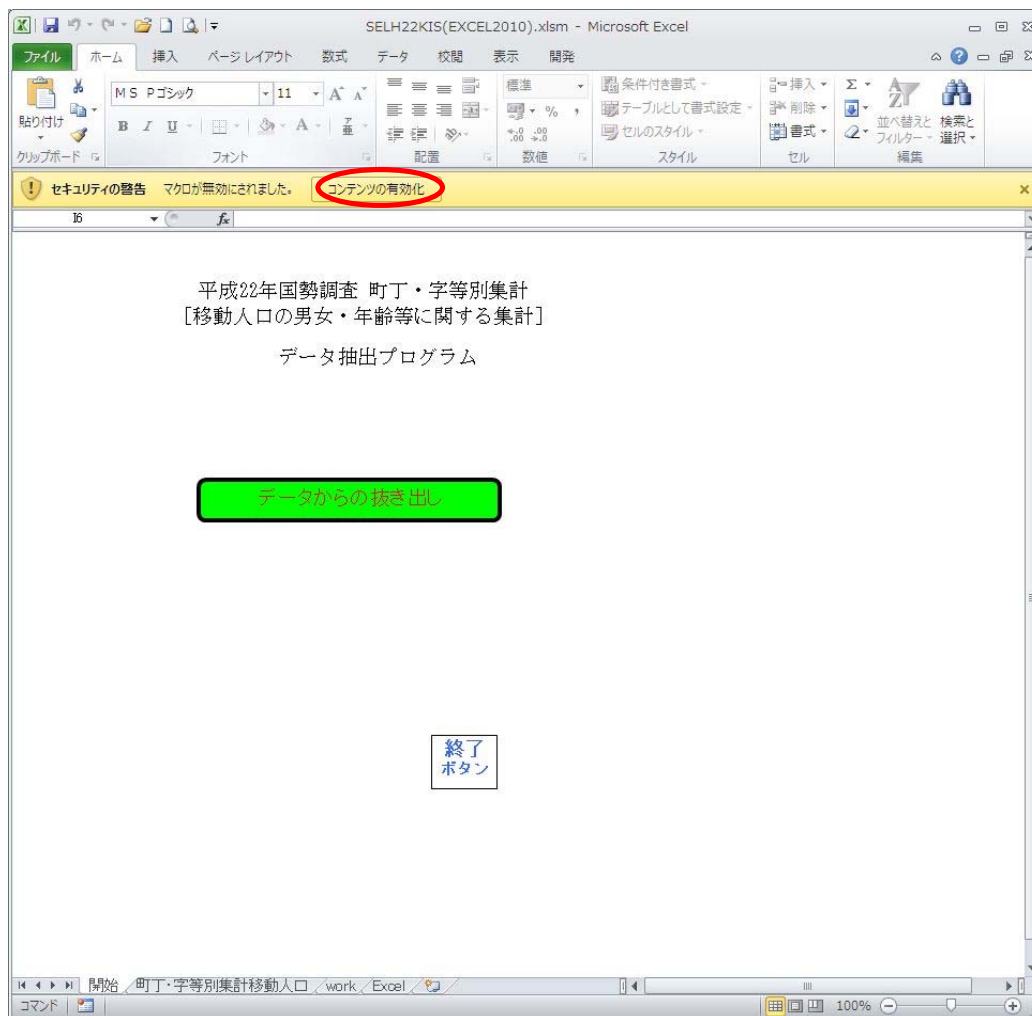
#### (2) 町丁字等名称

漢字の町丁字等名称を記録している。

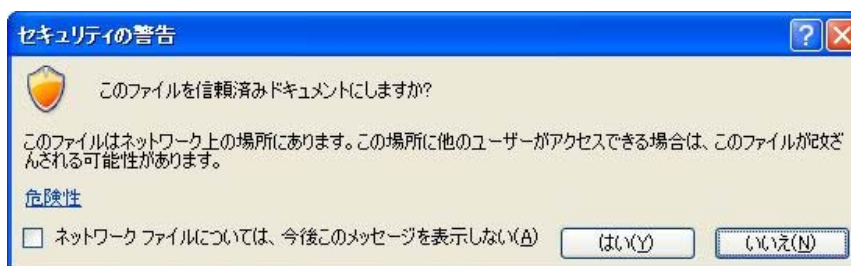
**操作手順:**

1. 抽出プログラムを起動し、「SELH22KIS(EXCEL2010).xlsm」をExcelに読み込む。

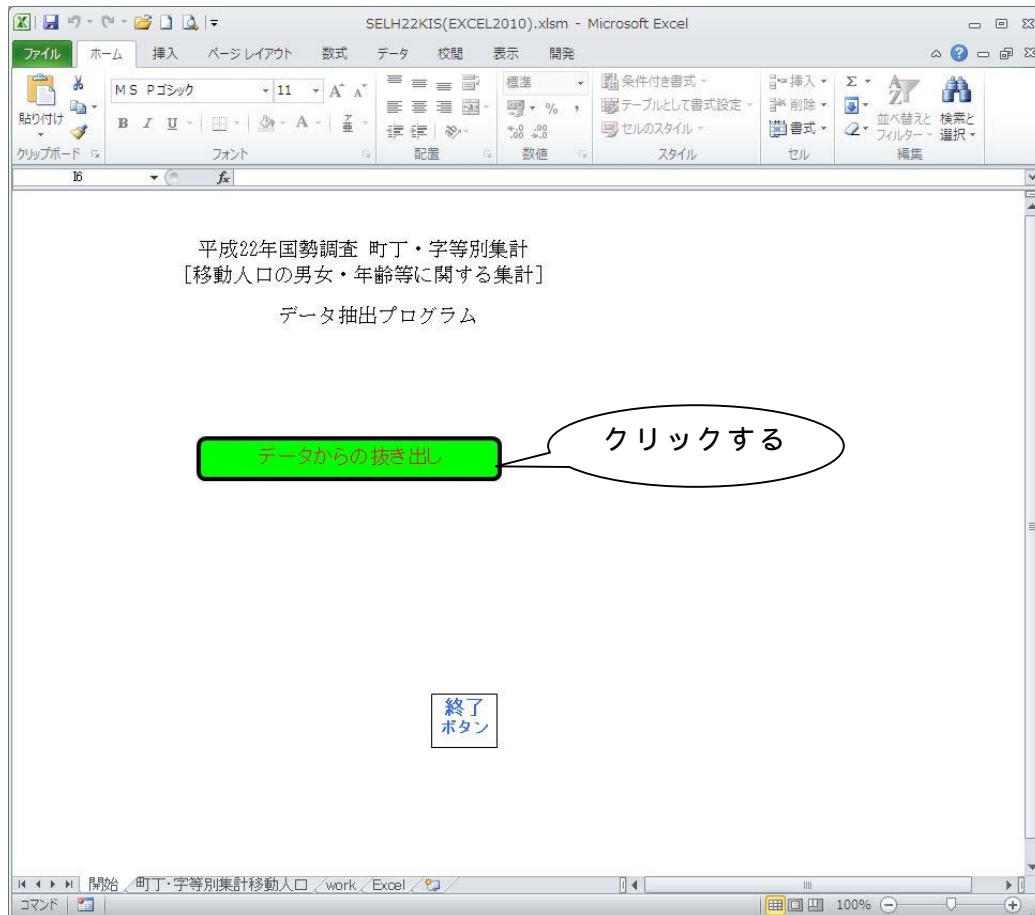
セキュリティの警告の際に「コンテンツの有効化」をクリックする。



下記が表示された場合は、信頼済みのドキュメントとして、「はい」をクリックする。



2. 最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。  
クリックすると集計別の項目選択 Excel シートが表示される。



### 3. Excelシート上に必要事項を記入（キーイン）する。

#### (1) RIDの選択

ファイルIDから合算地域までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目（A列）に\*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。また、第3列目（C列）以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目（D列）、第5列目（E列）と順次記述する。

#### (2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目（A列）に\*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		指標値型データの抜き出し									
2		平成22年国勢調査 小地域集計 町丁・字等別集計 [移動人口の男女・年齢等に関する集計]									
3		----	秘匿あり								
4		以下の区分で必要なものがあれば項目の横（の罫）にコードを記述する。									
5		記述例： 市区町村番号の201と202を抽出対象とする場合									
6			1	2	3	...					
7		"市区町村コード"	201	202							
8											
9											
10		必要な項目には*を									
11	*	"ファイルID"									
12	*	"都道府県コード"									
13	*	"市区町村コード"									
14	*	"基本単位数番号"									
15	*	"地域識別番号"									
16	*	"秘匿処理"									
17	*	"都道府県名"									
18	*	"市区町村名"									
19	*	"大字・町名"									
20	*	"町・丁目名"									
21	*	"秘匿先情報"									
22	*	"合算地域"									
23											
24		以下はデータ項目									
25		抜き出す項目を*にする。									
26		項目の入っていない箇所に*を入るとERRORが出るので注意									
27		指定が終了したら、このボタンを押す。----->									
28	*	性別1/男女計 常住者(人)									
29		性別2/男女計 現住所(人)									
30		性別3/男女計 国内総数(人)									
31		性別4/男女計 自市区町村内(人)									
32		性別5/男女計 自市内他区から(人)									
33		性別6/男女計 県内他市区町村から(人)									
34		性別7/男女計 県外から(人)									
35		性別8/男女計 国外から(人)									
36		性別9/男 常住者(人)									
37		性別10/男 現住所(人)									
38		性別11/男 国内総数(人)									
39		性別12/男 自市区町村内(人)									
40		性別13/男 自市内他区から(人)									
41		性別14/男 県内他市区町村から(人)									

Callouts in the image:

- 抽出条件はこちら (points to row 6)
- 必要な項目には\*を (points to row 10)
- 抽出し対象を絞る場合は、例に従ってコードを書く。複数ある場合は、右に向かって記述していく。(points to rows 11-22)
- 項目の入っていない箇所に\*を入るとERRORが出るので注意 (points to row 25)
- 吹き出し開始ボタン (points to the smiley face icon)
- もどる (points to the back button)
- 指示が終わったらここをクリックする。抜き出し画面が表示される。(points to the smiley face icon)
- 必要な項目に\*を入れる。\*は全角でも半角でもOK。(points to row 11)

町丁字等別集計には、秘匿が含まれている。

(ファイルの集計項目は次の画面で表示される。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。)

#### 4. 指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

抜き出し先EXCELファイルの拡張子は「.xlsx」(EXCEL2007以降のファイル保存形式)としている。

The image shows two screenshots from a software application. The top screenshot is the 'Indicator Value Data Extraction V3' dialog box. It has a title bar with a close button. The main area contains the following elements:

- Header: 平成22年国勢調査 小地域集計 指標値型データをデータ抽出します
- Original File: 元ファイル (Data: H22KISkk) with a text box containing 'データファイルを選んで下さい' and a '参照' (Reference) button.
- Destination File: 抜き出し先ファイル with an empty text box and a '参照' (Reference) button.
- Output Type: 抜き出し先ファイルの種類 (Output file type) with radio buttons for CSV, Excel, and DBF.
- Maximum Records: 抜き出し最大レコード数 (含む見出し行) (Maximum number of records to extract, including header rows) with a dropdown menu set to '全て' (All). A note below says '数字以外を入れると対象となったもの全てとします。' (If you enter anything other than numbers, all items that match will be included).
- Buttons: 'もどる' (Back) and '実行' (Execute).

Callouts for this dialog:

- Pointing to the '参照' button for the original file: 抜き出し結果のタイプを選ぶ。 (Choose the type of the extracted result.)
- Pointing to the '参照' button for the destination file: 参照をクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが表示される。 (Clicking 'Reference' displays the 'Open File' dialog.)
- Pointing to the '全て' dropdown: 抽出最大数を指定する。全ての場合、「全て」と指定する。 (Specify the maximum number of records to extract. In the case of 'all', specify 'all'.)
- Pointing to the '実行' button: 抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。 (Displayed when you specify the source data and destination data name.)

The bottom screenshot is the 'ファイルを開く' (Open File) dialog box. It shows a file explorer view of the folder 'H22KIS37'. A table lists files:

名前	サイズ	種類	更新日時
H22KIS37.dat	156 KB	DAT ファイル	2012/06/28 15:39

Callouts for this dialog:

- Pointing to the selected file 'H22KIS37.dat':
  1. 抽出先データを選ぶ。名前は町丁・字等別集計人口移動の場合は、H22KISkk.datである。kkは県番号。ダブルクリックで選ぶ。
  2. 抜き出し先のデータを選ぶ。新規の場合は、ファイル名をキーインして「開く」をクリックする。
- Pointing to the file type dropdown: ファイルの種類(D): 集計データ (\*.dat)

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。  
抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

## 利用上の留意点

(1) 秘匿について：

平成22年町丁・字等別集計での秘匿は、人口または世帯数が極めて少ない地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域（町丁・字等別の場合、原則は直前の地域）に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報はCSVデータの秘匿区分、及び秘匿・合算符号に記録している。

(2) 集計データについて：

該当数値なしは「-」、秘匿され隠されたデータは「X」としている。